

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地歴・ 日本史 B		2年 (文系)	4	詳説日本史 (山川出版社)	新詳日本史（浜島書店） 新編史料日本史（とうほう） ポテンシャル日本史〔基礎力養成編〕 (山平出版事業部)
科目の概要 と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・古代から近世までの日本の歴史が、変化する国際情勢の中でいかに展開してきたかを学ぶことによって、先人の歩みと苦勞を知り、今後の生き方・あり方を考える。 ・国際人として、基本的な日本史の知識を身につける。 			
授業の進め 方		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やプリント等を用いて、基本的な知識の定着を図るとともに、歴史の流れの中で歴史的事項を位置づける。 ・史料集や図表を活用して、史料を読み取る力を養う。 			
評価の観点 と方法		<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の観点から評価を行う。 ・定期考査、各種校内テスト、課題等提出状況を総合的に評価する。 			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	日本文化のあけぼの ・文化のはじまり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権 律令国家の形成 ・飛鳥の朝廷 ・律令国家の成立 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安朝廷の形成 貴族政治と国風文化 ・摂関政治 ・国風文化 ・荘園と武士		<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島における文化の形成を、考古学の発掘成果をふまえて理解するとともに、原始日本人の精神生活について考察する。 ・古代国家の成立・発展過程を、東アジア文化と関連づけて理解する。 ・律令体制の成立過程と制度の内容を理解する。 ・儒教や仏教などの文化と古代国家の関わりを理解する。 ・律令体制の変遷過程を理解する。 ・東アジア世界との関係の変化や地方の変化に着目しながら、律令体制の変質や国風文化の成立について理解する。 	
	2 学 期	中世社会の成立 ・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 武家社会の成長 ・室町文化 ・戦国大名の登場 幕藩体制の確立 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立		<ul style="list-style-type: none"> ・公家政権との抗争を経て、鎌倉幕府が成立・発展していったことを理解する。 ・元寇が政治・社会に与えた影響を考察する。 ・鎌倉新仏教の成立により、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立・発展過程を、日本諸地域の動向をふまえて理解する。 ・諸産業の発展による庶民の台頭と、東アジア社会との交流について理解する。 ・武家政権の進展や東アジア世界との交流に着目しながら、公家文化と武家文化の関わりについて理解する。 ・ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・織豊政権による統一政策が封建制度の確立に果たした役割を考察する。 ・幕藩体制の構造を、大名統制や農民支配、商品経済の発展など多面的・多角的に考察し、理解する。 	
	3 学 期	幕藩体制の展開 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 近代国家の成立 ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵		<ul style="list-style-type: none"> ・国内の安定にともなう農村や都市における産業・経済・交通の発展の様子を理解し、その繁栄にもとづいた元禄文化の特質等について理解できる。 ・幕藩体制を維持するために実施された改革について知るとともに、鎖国下の成熟した町人文化について理解を深める。 ・幕府崩壊の過程を国際社会のなかに位置づけて理解し、明治新政府の富国強兵策の推進、反政府運動でもある自由民権・立憲体制の樹立の一連の流れを理解できる。 	